

牧逸馬 （逸馬） 小説家。明治二十二年一月一日新潟縣生まれ、昭和十年六月二十九日歿（一九〇一―五）。本名長谷川海太郎。別名ウイリアム・ヘーム、牛草太郎、小牧龍、小牧順吉、林不忘、田野郎、谷讓次等。函館中學校中退後、大正七年アメリカに渡り苦學。歸國後雜誌『新青年』に所謂へゆうけんじやつぷん物を發表、更に林不忘の筆名で時代物等大衆小説の各分野を熟して話題となる。弟小洋畫家長谷川海二郎（作家名地味井平造）、ロシア文學者長谷川瀆、小説家長谷川四郎、二人二人全集』全十二卷（昭和八年十月二十五日―十年六月十七日新潮社）刊。

牧逸馬名著譯書『創作探偵小説選集・第二輯（一九二七年版）』、『合著・探偵趣味の會』平井太郎編、昭和二年一月一日春陽堂）、『英米

新進作家集』（譯、昭和四年十一月二日改造社）『世界大衆文學全集』、

『グゼランダの椅子』（昭和五年二月二十日現代ユウモヤ全集刊行會

『現代ユウモヤ全集』）、『この太陽』（昭和五年九月一日中央公論

社。再刊一全二冊、上巻、下巻、十一年二月十五日新潮社）『新潮文

庫』。『この太陽・完結篇（曉子の巻）』、『二十二年二月二十日、この

太陽（蕨子の巻）』、『二十二年八月一日静岡・新月書房）、『水晶の

座』（昭和五年九月十七日新潮社）『長篇文庫』）、『世界怪奇實話全

集』（一）『浴槽の花嫁』昭和五年十一月一日、（二）『運命のSOS』十六年

八月一日、（三）『戦争とは何だ』七年七月一日中央公論社）、『グイニヤ



デスマター作『ゴングッド・ガー』の譯、昭和十六年七月五日中央公論社。再刊一全二冊、上巻、十一年五月二十三日、下巻、七月十五日新潮社）『新潮文庫』）、

『海のおく港』(昭和六年九月一日中央公論社。再刊・十二年七月一日新潮社「新潮文庫」)、『柏原樹』(昭和七年八月二日中央公論社。再刊・十四年十月六日新潮社「新潮文庫」)、『地上の聖産』(昭和九年五月十六日新潮社)、『曉の獵人』(昭和十年七月二十一日新潮社)、『双心臓』(昭和十年八月十六日新潮社「昭和長篇小説全集」)、『七つの海』全二冊(上巻・下巻・昭和十二年一月二十一日新潮社「新潮文庫」)、『世界怪奇實話全集』(『浴槽の花嫁』(昭和十二年五月十五日文藝俱樂部社)等。

谷譲次名著譯書『テキサス無宿也二千一篇』(昭和四年二月十日改造社)、『おとだん・ごめろうん』(昭和四年三月二十二日改造社。再刊・十年十一月二十七日新潮社「新潮文庫」)、『踊る地平線』(昭和四年十月十五日中央公論社。再刊・十二年四月二十五日新潮社「新潮文庫」)、『オオイヒトワングル作』

『猶太人ジユス』(内題「ジユウ・シユス」譯、昭和五年八月一日中央公論社)、『アプトン・シンクレータ作』(人のわれき大工と呼ぶ)百パーセント愛國者』(早坂一郎共譯、昭和五年八月一日新潮社「第一」期世界文學全集)、『テキサス無宿』(昭和十年十一月二十七日新潮社「新潮文庫」)、『浴槽の花嫁』(昭和十年十一月二十七日新潮社「新潮文庫」)、『新巖窟王』(昭和十一年七月二十二日新潮社)等。

林不忘名著譯書『丹下左膳』全二冊(こけ猿の巻・昭和九年七月二十一日)



日、日光の巻・十一月二十六日新潮社）、『大岡政談』（昭和十  
年八月五日平凡社「大衆文學名作選」）、『丹下左膳』（昭和十年八  
月十五日、普及版・十一月十一日新潮社）、『大岡政談』全一  
冊（上巻、下巻・昭和十一年九月二十日新潮社「新潮文庫」）、『大  
岡政談』（昭和十二年十一月十五日新潮社「大衆名著選集」）、『魔  
像』（新版大岡政談）（昭和十四年二月二十六日新潮社「新潮文庫」）、  
『丹下左膳』（第一巻―乾雲抽籠の巻・昭和十二年九月十五日、第  
二巻―北國旅日記の巻・十月二十日寶雲舎）、『魔像―新版大岡政談』  
（昭和十四年八月十五日和光出版社）、『丹下左膳』全二冊（第一  
巻・昭和十四年一月十日、第一巻・二月二十日、第二巻・二十八日  
新潮社「新潮文庫」）等。